

長野市気候変動適応計画(案)

※「施策テーマ1-6 気候変動への適応」に関する分野ごとの取組(第三次長野市環境基本計画 素々案 39P~43P)

資料1-1-2

| 分野 | 予想される影響 | 適応策 |
|----------|---|--|
| 農業・林業 | <p>高温の気象条件によるコメへの影響として、登熟期に高温に遭遇することによる品質の低下や土壌中の窒素の増加に伴う倒伏の発生、病害虫の発生への影響等が予想されます。また、気温上昇が進むと標高の低い土地では高温により収量の減収が予想されます。リンゴへの影響としては、気温の上昇とともに栽培適地は拡大しますが、さらに気温が上昇すると標高の低い地域では新品種への切替えなどの対策が必要となることが予想されます。ブドウへの影響としては、気温上昇により標高の低い地域では露地栽培における「巨峰」の着色不良の発生地域が広がるとともにその発生頻度が高くなると予想されます。林業への影響としては、松枯れの可能性がある気候域(潜在リスク域)は気温上昇により拡大すると予測されます。</p> | <p>(農業) ○果樹の生産振興として、省力化、多収化、生産性の向上を図るため、新たな栽培技術や新品種の導入を支援【農業政策課】 ○農業共済加入の農業者の負担を軽減するため、果樹共済掛金及び農業共済事務費賦課金に対して補助金を交付【農業政策課】 ○自然災害等による被害農業者の農業経営の安定を図る農業災害対策資金の借入に伴う金利負担を軽減するための利子補給金を交付【農業政策課】 ○暴風雨、降ひょう、豪雪等に起因する農作物等の被害に対し、被害を最小限にするためJA等が行う対策に要する経費に対し補助金を交付【農業政策課】 (林業) ○森林病害虫等防除事業(松くい虫被害防除事業)での伐倒くん蒸の実施【森林農地整備課】 ○気象災害等による枯損木、傾倒木、破損木等の伐採処理を行うことに対する補助の実施【森林農地整備課】</p> |
| 水環境・水資源 | <p>千曲川流域の河川流量や積雪水量の想定される影響として、現在は冬の間は降り積もった雪が雪融け水として、4月前後に一気に川に流れるため流量のピークが見られますが、21世紀末には、気温の上昇により降雪量が減るだけでなく、積もった雪が冬の間は融けやすくなるため、春先の融雪による流量のピークは減少することが予想されます。積雪水量も約60%減少することが予測されます。</p> | <p>○水源地域の公的関与の推進【水道整備課】 ・水道事業者による災害等相互応援 ・条例による「水道水源保全地区」の指定 ○農業用水の安定供給のため、農業水利施設を補修・更新【森林農地整備課】 ○水源涵養のため、間伐を中心とした森林整備や、計画的な主伐、再造林による多様な林齢・樹種からなる森林づくりを推進【森林農地整備課】 ○水道事業者による水道水源の監視強化を指導し、突然の水質悪化に備える。(専用水道施設の監視指導)【食品生活衛生課】 ○取水設備の機能強化、薬品注入設備の増強等による高濁度対策や安定的な浄水に努める。【浄水課】 ○ダム水をはじめとする水道水源の監視強化や原水の水質に応じた浄水施設の整備を行い、夏場及び突然の水質悪化時に備える。【浄水課】</p> |
| 自然生態系 | <p>温暖化の影響により、動植物の生息(生育)適地が、移動したり消滅したりします。新しい生息(生育)適地が近くになれば、動植物の絶滅リスクが高まる可能性があります。一方で、生息域をひろげ、数を増やす動植物もあり、生物多様性の変化が起こる可能性があります。</p> | <p>○市内の自然環境に関する情報を市民等へ提供し、生物多様性の重要性について啓発を実施【環境保全温暖化対策課】 ○外来生物等に対する適切な対応について、情報提供【環境保全温暖化対策課】</p> |
| 自然災害・沿岸域 | <p>千曲川などの大きな河川沿いに広く氾濫域が存在し、地形が急峻な場所、平野部に出たところ、合流地点などにおいて広い氾濫が見られます。また、床上浸水面積が大きくなることが予測されます。気温上昇による降水量の増加に伴い、土砂災害警戒区域内の斜面崩壊発生確率の上昇が予測されます。</p> | <p>(洪水) ○洪水予報河川及び水位周知河川における1000年に1度の降雨洪水浸水想定区域図の作成【危機管理防災課】 ○「信州防災『逃げ遅れゼロ』」宣言に基づき、県と市町村が一体となって防災・減災対策を推進【危機管理防災課】 ○部局連携により、ハザードマップと連携した「地域の防災マップ」や「災害時住民支え合いマップ」等の作成を支援【危機管理防災課】 ○要配慮者利用施設による避難確保計画・避難訓練を推進【危機管理防災課】 ○中小河川における1000年に1度の想定最大規模降雨洪水浸水想定区域図の作成【危機管理防災課】 ○豪雨による農地等の湛水被害を防止するため、耐用年数の超過により機能が低下した排水機場のポンプ設備を計画的に改修【森林農地整備課】 ○準用河川・水路及び雨水渠計画に基づく雨水幹線、ポンプ場、雨水調整池等の整備を実施し、計画的に治水対策を推進【河川課】 ○河川管理施設について、定期点検、長寿命化計画に基づく適切な維持管理の実施【河川課・維持課】 ・施設の異常、土砂の堆積状況の把握を行うとともに、適時適切な護岸の修繕や河床掘削、流木の除去等を実施 ・準用河川区域とその周辺の河畔林のうち、防災効果が高い箇所を除間伐を実施 ○水位計、監視カメラによるリアルタイム情報の発信【河川課】 ○流域で雨水を「留める」ことを主体とした雨水貯留等の「流域治水」の取組を推進【河川課】 ○居住等を誘導する区域内で想定される浸水災害への対策について、立地適正化計画内に防災指針を作成し、対応策を記載する。【都市政策課】</p> <p>(土砂災害) ○「信州防災『逃げ遅れゼロ』」宣言による、県と市町村が一体となって防災・減災対策を推進【危機管理防災課】 ○要配慮者利用施設における避難確保計画策定・避難訓練の実施を支援【危機管理防災課】 ○部局連携による「地区防災マップ」や「災害時住民支え合いマップ」等の作成を支援【危機管理防災課】 ○我が事として捉える防災意識向上の取組(公民館や学校などに防災教育講師として砂防ボランティアを派遣)【危機管理防災課】 ○農業・農村が有する多面的機能の維持・発揮を図るため、農業者等が共同して取り組む地域活動や地域資源(農地・農業用水路・農道等)の保全管理活動支援【農業政策課】</p> <p>○ため池が決壊した場合、迅速かつ安全に避難するために必要な「ため池ハザードマップ」を作成【森林農地整備課】 ○森林の多面的な機能を持続的に発揮させるための間伐を中心とした森林づくりと木材の積極的な利用【森林農地整備課】 ○土砂災害に対する砂防事業、地すべり対策事業、急傾斜地崩壊対策事業、雪崩対策事業等によるハード整備により防災・減災対策を推進【河川課・維持課】</p> |

| 分野 | 予想される影響 | 適応策 |
|-----------|---|--|
| 健康 | <p>近未来における熱中症リスクは約2倍に増加し、21世紀末には約2倍～5倍になると予測されます。また、ヒトスジシマカ生息可能域は、気温の上昇に伴い広がると予測されます。</p> | <p>(熱中症) ○平常時からホームページ、ラジオ放送、リーフレット(一般向け、高齢者向け、外国人向け)等により熱中症予防啓発を実施【健康課】 ○危険な暑さが予想される場合、令和3年6月から実施された熱中症警戒アラートにより、関係部局等と連携し、熱中症予防を呼び掛け【健康課】 (感染症) ○感染症の予防策等について、様々な広報媒体を用いて積極的に市民等へ周知【健康課】 ○感染症の発生状況等について、適時適切に情報提供【健康課】 ○蚊が媒介するウイルス(デングウイルス・チクングニヤウイルス・ジカウイルス)について検査体制の確保【健康課・環境衛生試験所】 ○ヒトスジシマカなど節足動物の発生を減らすための対策や、刺されないための対策を注意喚起【食品生活衛生課】 ○蚊の駆除対策等について啓発や研修会を実施【食品生活衛生課】</p> |
| 産業・経済活動 | <p>地球温暖化の進行により、自然環境資源を生かした地方のレクリエーション・サービス産業への影響、とりわけ大きな影響が想定されるのはスキー産業です。例えば積雪がなければスキー場のゲレンデはそもそもオープンできませんが、積雪があったとしても気温上昇による雪質の低下が集客数の減少につながると考えられます。</p> | <p>○戸隠・飯綱高原エリアにおいて、キャンプ場や遊歩道、トレッキングコース、アクティビティ施設等の整備を行い、グリーンシーズンの誘客強化に取り組む【観光振興課】 ○信越高原サイクリングモデルコースをフックとした、誘客促進プロモーションの展開【観光振興課】 ・長野県が主導するサイクルツーリズム推進団体「Japan Alps Cycling Project」との連携【観光振興課】 ○暖冬により雪不足の影響を受けた中小企業者に対し、長野市中小企業振興資金融資制度により支援【商工労働課】</p> |
| 国民生活・都市生活 | <p>長野市内の中心部付近から松代方面にかけての都市域に夏季の気温の高い地点が多く分布しており、ヒートアイランドの影響が確認されます。これに地球温暖化による気温上昇が加わることで、これらの地域では高温による熱中症などのリスクがより高くなると予想されます。</p> | <p>○まちづくりにおけるグリーンインフラの推進に向けた計画に基づき、長野市のまちづくりに街路樹や建物緑化などのグリーンインフラを浸透させ、環境負荷の低減や防災機能の強化を図るとともに、魅力あるまちづくりを目指す。【公園緑地課】</p> |

※各分野における「予想される影響」については、現在の知見をもとに条件下で計算した推測となるため、必ずしも予想される結果になるものではありません。